

05 貸金（主債務者用：記載例）

（注）□欄は、該当事項にレ点を付すか、又は、■に反転させる。

請 求 の 趣 旨

- 1 被告は、 被告らは、連帯して、原告に対し、次の金員を支払え。
  - (1) 金 400,000円（元本）
  - (2) 確定利息金 円 確定遅延損害金 円  
上記金額に対する令和5年 7月 1日から令和5年 9月30日まで年●パーセントの割合による金員
  - (3) 上記(1)の金額に対する  
令和5年10月 1日から  
訴状送達の日翌日から  
 支払済みまで年●パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は、被告 被告ら の負担とする。
- 3 この判決は、仮に執行することができる。

紛争の要点（請求の原因）

1 原告は、被告 被告 に対し、次のとおり金員を貸し渡した。

- (1) 貸付日と金額  
令和5年 7月 1日 金400,000円  
令和 年 月 日から令和 年 月 日まで  
 合計金 円（別紙記載のとおり）
- (2) 返済期の定め あり  
令和5年 9月30日  
令和 年 月 日から令和 年 月 日  
 まで毎月 日限り金 円の分割払い  
別紙のとおり  
なし
- (3) 特 約 利息 (年 ●パーセント)  
遅延損害金 (年 ●パーセント)  
期限の利益喪失の定めあり  
 (内容 )

2 被告 は上記契約を連帯保証した。（書面あり）

- 3 返済状況 返済あり  
令和 年 月 日 金 円  
令和 年 月 日から令和 年 月 日  
 まで合計金 円（別紙記載のとおり）  
全く返済なし

4 期限の利益喪失日 令和 年 月 日

5 その他参考事項

添 付 書 類

- 法人登記事項証明書（資格証明書） 契約書 借用書 念書 メモ
-